

ほけんだより

梅雨の時期に入り、涼しい日もあれば、蒸し暑い日も多く続いています。この時期は、まだ体が暑さに慣れていないため、熱中症をおこしやすくなります。保育所でもこまめに水分補給など声をかけていきたいと思いますが、ご家庭でも、暑さ対策や水分補給を心がけ熱中症に気を付けましょう。

【夏に多い感染症について】

夏に多くみられる代表的な感染症です。夏の感染症の予防の基本も、冬の感染症と同様、手洗い・うがいです。

～手足口病～

口内、手や足、足の裏、ひざやひじの周り、お尻などに赤い米粒のような発疹が出ます。口内が痛み、水分や食事がとりにくくなります。飲食がしにくい場合には、のど越しが良いものを与えてあげましょう。全身状態が良ければ登所は可能です。 ☆ 登所届が必要



～ヘルパンギーナ～

突然の高熱やのどの痛み、乳幼児ではよだれが増える、食欲低下、不機嫌などの症状が見られます。口内に小さな水泡ができます。熱が下がり、飲食が普段通りでき全身状態が良ければ登所可能です。

☆ 登所届が必要



～咽頭結膜熱(プール熱)～

急な高熱とよだれの痛み、目やにや充血が見られ、全身状態の改善までに1週間ほどかかります。感染力が強い為、発熱、目の充血などの症状がなくなってから、2日を経過し、医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。

☆ 登所許可書が必要



～流行性角結膜炎(はやり目)～

1～2週間の潜伏期間があり、結膜の充血や目やに、かゆみ、まぶたの腫れなどが見られます。白目や結膜の充血が著しいのが特徴です。感染力が強い為、家庭内でのタオルの共有を避け、手洗いをきちんと行いましょう。医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。

☆ 登所許可書が必要



嘔吐・下痢に気をつけよ

6月に入り、りす組やあひる組で嘔吐や下痢の症状でお休みするお子さんが多くいました。

～お願い～

嘔吐・下痢の登所に関して、証明などは必要ありませんが、症状が続いている(24時間以内に嘔吐や下痢が2回以上)際には、お家で様子をみていただくようご協力をお願いいたします。保育中、状況によりお迎えをお願いすることもあります。集団生活であることをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



熱中症に注意!

★熱中症を予防するポイント★

1. 暑さを避ける
2. こまめに水分補給
3. 暑さに備えた体づくり
3. 適宜マスクを外す
4. 日頃からの健康管理

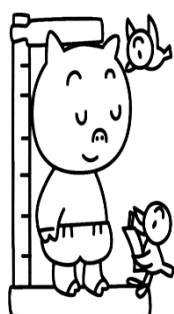
感染症対策として、マスクの着用をお願いしていますが、高温多湿の環境での着用は、熱中症のリスクが高くなります。屋外で人と十分な距離が確保される際には、マスクを外して過ごすようにしましょう。



7月の身体測定

- ひよこ組：7日
- りす組：5日
- あひる組：6日
- うさぎ組：1日
- ぞう組：6日
- きりん組：12日

☆ 乳児健診：7日 9:30～



- 6月28日は歯科検診があります。年に1度の貴重な機会ですので、なるべく欠席のないようご協力をお願いいたします。後日歯科検診の結果を配布いたします。虫歯のあるお子さんは必ず歯科受診を行い、保育所へ治療確認証の提出をお願いいたします。
- 体調を崩しお休みするお子さんが増えています。これからの時期、夏かぜが多くなると予想されますので手洗い・うがいをしっかりと行い、感染症を予防していきましょう。